

タンネウシ



09

タンネウシはアイヌ語で「長い・木の・群生しているところ」。博物館付近の地名です

月号

ロビー展

「駅名板と行き先板で見る釧網本線と近隣の鉄路たち」



1931年に全線が開通してから80年を経た釧網本線、1970年に廃線となった根北線、斜里近隣の鉄路の歴史を数多くの駅名板や行き先板で紹介いたします。▶期間：9月1日(金)～10月1日(日)▶場所：交流記念館ホール▶観覧無料▶主催：斜里の線路脇の空き地に花の公園を作しましょう!会・知床博物館▶協賛：知床総合研究所▶資料提供：高田敏

講演会「うんちはごちそう」

生きる基本は、食べて出すこと。つまり食物から栄養を吸収し、残りカスをウンコとして排泄することです。では、そのウンコは役立たずのカスなののでしょうか？草食動物を肉食動物が食べ、さらに強い動物が食べる食物連鎖。その頂点にいて、ある意味残酷な食べ方をするライオンやワシなどは、自然を破壊するどころか、しっかり共生して生きています。その秘密は、ノグソにありました。食物連鎖の裏には、ウンコから始まる

連鎖があり、自然は無限に続く命の循環をつくり上げていました。菌類やコケ植物の写真家として、また『くう・ねる・のぐそ』などの著作で知られる氏の話をお聞かせします ▶日時：9月9日(土) 18:30～20:30 ▶場所：博物館2F映像展示室 ▶講師：伊沢正名(写真家・糞土師)



講座「北海道の銘石で作るペーパーウエイト」

北海道には十勝石(黒曜石)、コタン石(ヒスイを含む変成岩)、アオトラ石(縞状緑色岩)、幌満カンラン岩(風化のないマントル物質)など数多くの銘石と言われる岩石があります。これらの岩石を磨きペーパーウエイトを作ってみましょう。▶日時：9月24日(日) 9:00～11:00・13:00～15:00・15:30～17:30 ▶博物館集合 ▶定員：各4名(小学1年生以上) ▶要申込み ▶参加費：大人200円 中学生以下無料 ▶担当：合地学芸員



早朝草取りボランティア

9月10日(日) 6:00～7:00 野外観察園集合・雨天中止。

講座「月のクレーターと土星の環をデジカメで撮ろう」

9月6日は満月です。月へ隕石が衝突して作られたクレーターを観察し、デジカメやスマホで撮影します。土星の環にも挑戦してみましょう。▶日時：9月6日(水) 19:00～20:30 ▶場所：博物館天体ドーム室 ▶要申込み ▶悪天候は7日(木)に延期 ▶担当：合地学芸員



学芸員のオススメ



偏光顕微鏡 鉱物に光が通るように岩石を薄く(0.03mm)し、上下に2枚の偏光板を通して観察します。光は鉱物の結晶構造を通ると屈折しますので、その光学性を利用して鉱物の種類や、熟練すると化学組成も分かります。X線によるピンポイント分析は詳細なデータを提供してくれる反面「木を見て森を見ず」と言われることがあります。その点、顕微鏡では全体像が見えてきます。発想が良ければトップレベルの研究が博物館でも可能な大切な道具です。(合地)

お知らせ 窓口にいる斎藤葵さんが、ご主人の転勤で故郷の斜里町を離れることになり8月10日で退職しました。

休館日 9月4・11・25日の月曜日と19日(火)です。18・23日(祝)は開館しています。

編集後記 小学生の時に博物館に入りしていたM君が、数十年ぶりに子どもを連れて来館しました。考古学のむずかしい本を読んでいた小学生がお父さんに...感慨深い。(ひら)